

企画名：保育園で働くナースのためのやんばる研究会

実施日：第1回 平成26年6月5日

企画実施組織：金城やす子・松下聖子・八田早恵子

#### 企画の目的・概要

病児・病後児や障害のある子どもたち、また慢性疾患やアレルギーのある子どもたちの保育に関与する保育園看護師について、子どものQOL向上に果たす役割、さらに保育看護を実践するためのシステム作りと保育看護師のサポートネットワークづくりを目的として、平成25年度に「保育園で働くナースのためのやんばる研究会」を立ち上げた。平成26年度も引き続き、保育園看護師や保育士の方々が抱えている悩みや日ごろの体験などの情報交換をとおして、安心して働けることをめざし、開催している。

#### 企画実施報告

1. 日時：2014年6月5日（木）15:00 - 17:00

2. 場所：看護学科棟 講義室4

3. 参加者：10名

北部地域保育園看護師 5名（所属4園）

名護市役所 子育て支援課 就学前教育専門指導員 1名 名桜大学4年次看護学生 1名

名桜大学看護学科教員 3名

4. 内容：今回は平成26年度初回ということもあり、まず冒頭で、金城祥教看護実践教育研究センター長より、看護実践教育研究センターの活動の紹介および紙屋克子先生の講演紹介があった。その後、7月の八重瀬での講演や10月の保育園保健協議会学会のお知らせ、予防接種スケジュールについて、また手洗い指導についての情報提供を行った。そして今保育園で実際に困っていることや日頃考えていることについて、ディスカッションを実施した。内容は、保育園で水遊び前後の感染症対策の具体的な方法やマニュアル作成について、0歳児の乱れた生活リズム改善を親にどう指導していくか等で、活発な意見交換が行われた。

#### 企画の実施評価

初参加の2名の方々は、認可保育園になって1年というところで、いろいろ質問をされていた。昨年からの参加者は大変打ち解けて、保育園での具体的な疑問点や困っていることなどについて話されていた。今後も情報共有の場として、定着するよう努めていきたい。

#### 【参加者の感想】

・症例の相談ができて、多くの意見が聞けました。今後の参考にしていきます。これからもたくさんの情報交換をして学び、保育に生かしていけたらと思います。

・初めて参加しましたが、普段、他園の方と関わる機会がなかったので、とてもよい交流になりました。また、様々な話を聞けて、楽しく学ぶことができました。また参加したいです。

#### 今後の取組み

次回開催 8月7日（木）15:00 - 17:00

7月末の「気になる子ども」についての講演会のビデオ鑑賞（予定）・・・参加者より、日程の調整が難しく実際に講演会に行けないため、ビデオ鑑賞の要望が多くあった。

また日程調整の結果、今年度は、8月、9月、12月、1月の第1木曜日 15時～17時に、実施予定となった。



企画名：保育園で働くナースのためのやんばる研究会
実施日：第2回 8月7日
企画実施組織：金城やす子・八田早恵子
<p>企画の目的・概要</p> <p>病児・病後児や障害のある子どもたち、また慢性疾患やアレルギーのある子どもたちの保育に関与する保育園看護師について、子どものQOL向上に果たす役割、さらに保育看護を実践するためのシステム作りと保育看護師のサポートネットワークづくりを目的として、平成25年度に「保育園で働くナースのためのやんばる研究会」を立ち上げた。平成26年度も引き続き、保育園看護師や保育士の方々が抱えている悩みや日ごろの体験などの情報交換をとおして、安心して働けることをめざし、開催している。</p>
<p>企画実施報告</p> <p>1. 日時：2014年8月7日（木）15:00 - 17:00</p> <p>2. 場所：看護学科棟 講義室4</p> <p>3. 参加者：8名  北部地域保育園看護師 3名（所属3園）、北部地区保育園園長 1名、  名護市役所 子育て支援課 就学前教育専門指導員 1名  名桜大学看護実践教育研究センター長、名桜大学看護学科教員 2名</p> <p>4. 内容：今回は、徳田克己先生（筑波大学医学医療系教授 教育学博士、臨床心理士）の「頭の良い子どもを育てる子育ての秘訣」講演ビデオの上映を行った。これは前回参加者の看護師さん方にリクエストいただいていたものである。最初に金城祥教看護実践教育研究センター長より、徳田先生のご紹介をしていただき、約1時間のビデオを上映した。その後、ビデオの感想や各園で実際に困っていることや日頃考えていることについて、ディスカッションを実施した。</p>
<p>企画の実施評価</p> <p>今回の講演会ビデオ上映に園長先生の参加があった。終了後の感想でも現在保育園での保育保健を巡る課題について、参加者全員で積極的なディスカッションが行われた。保育園看護師についてのアドボカシーのためにも、このやんばる研究会が情報共有の場として定着するよう努めていきたい。</p> <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事だけでなく、自分自身の子育てについて振り返るいい機会になりました。貴重な講演会を聞くことができ良かったです。ありがとうございました。</li> <li>・講演会を見て、徳田先生の言葉に多く胸をうたれました。子ども達のためになれるようにもっと努力していきたいと思いました。もっとこのような交流会を持ち、情報交換をしていきたい。</li> <li>・徳田先生の講演会のビデオとてもよかったです！子供から考えを引き出し、それを認めうなずく、とにかく子供の考える力を引き出せるような関わりを目指したいと改めて思いました。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p> <p>次回開催 10月最終週</p> <p>当初の予定では次回は9月だったが、日程調整が難しいため、10月最終週となった。</p>

<p>企画名：保育園で働くナースのためのやんばる研究会 第3回 保育園保健セミナー（全国保育園保健師看護師連絡会）</p>
<p>実施日：10月31日</p>
<p>企画実施組織：金城やす子・松下聖子・八田早恵子</p>
<p>企画の目的・概要</p> <p>病児・病後児や障害のある子どもたち、また慢性疾患やアレルギーのある子どもたちの保育に関与する保育園看護師について、子どものQOL向上に果たす役割、さらに保育看護を実践するためのシステム作りと保育看護師のサポートネットワークづくりを目的として、平成25年度に「保育園で働くナースのためのやんばる研究会」を立ち上げた。平成26年度も引き続き、保育園看護師や保育士の方々が抱えている悩みや日ごろの体験などの情報交換をとおして、安心して働けることをめざし、開催している。</p>
<p>企画実施報告</p> <p>1. 日時：2014年10月31日（金）19:00 - 20:00</p> <p>2. 場所：名護療育園 多目的ホール</p> <p>3. 参加者：全体で約40名</p> <p>八重瀬町保育園園長、看護師4名、 北部地域保育園園長、保育士、看護師、名護市子育て支援課約20名、全国保育園保健師看護師連絡会5名、名護療育園 勝連先生他スタッフ約10名、名桜大学看護学科教員3名</p> <p>4. 内容：一般社団法人全国保育園保健師看護師連絡会と名護療育園主催の「保育園保健セミナー」について、当研究会でも参加の呼びかけを行った。プログラムは、以下の通りである。</p> <p>1. 沖縄における保育園看護職の現状－名桜大学人間健康学部教授 金城やす子</p> <p>2. 保育園における看護職の役割－全国保育園保健師看護師連絡会副会長 小野寺芳子</p> <p>3. 保育園における救急救命法－全国保育園保健師看護師連絡会会長 並木由美江</p> <p>4. 保育園における感染症対策－社会福祉法人育陽会エンゼル保育園 須藤佐知子</p> <p>【お知らせ】平成28年1月名護市（名桜大学）にて全国保育園保健師看護師連絡会大会を実施予定。</p>
<p>企画の実施評価</p> <p>全国組織の全国保育園保健師看護師連絡会の保育園保健セミナーということで、連絡会作成の感染予防DVD上映や、事故予防については寸劇等を行いわかりやすく興味深い内容だった。沖縄全体の保育園看護職の現状について金城やす子教授からお話しがあり、北部での実施で南部からも参加があり、保育園看護職への意識づけとして大きいと考える。北部地域はまだまだ保育園看護職の方自体が少ないので、保育園や関係諸機関へのアドボカシーの必要性が高いと思われる。</p> <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な話が聞けてよかった。</li> <li>・この会も良かったが、またやんばる研究会やりましょう。いろいろお話ししたいです。（本部町、宜野座村の保育園看護師より）</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>
<p>次回開催 12月予定</p>

企画名	保育園で働くナースのためのやんばる研究会
実施日	第4回 12月18日
企画実施組織	金城やす子・松下聖子・八田早恵子
企画の目的・概要	<p>病児・病後児や障害のある子どもたち、また慢性疾患やアレルギーのある子どもたちの保育に関与する保育園看護師について、子どものQOL向上に果たす役割、さらに保育看護を実践するためのシステム作りと保育看護師のサポートネットワークづくりを目的として、平成25年度に「保育園で働くナースのためのやんばる研究会」を立ち上げた。平成26年度も引き続き、保育園看護師や保育士の方々が抱えている悩みや日ごろの体験などの情報交換をとおして、安心して働けることをめざし、開催している。</p>
企画実施報告	<p>1. 日時：2014年12月18日（木）15:00 - 17:00</p> <p>2. 場所：名城大学 看護学科棟 講義室3</p> <p>3. 参加者：12名  北部地域保育園看護師 6名（所属5園）、北部地区保育園園長 2名、  名護市役所 子育て支援課 就学前教育専門指導員 1名 名城大学看護学科教員 3名</p> <p>4. 内容：今回まずやんばる研究会の講演会について、参加者にリクエストを伺った。そして次の3点について情報共有を行った。【①1/16(金)沖縄小児保健センターでの保健セミナーのお知らせ、②発達障がい児（者）支援拠点ことばの教室資料（名護市社会福祉協議会より）③第20回保育園保健学会「保育園における障害児や医療的ケア児の受け入れと課題－保育園看護職の配置との関連について－（第1報）金城やす子」、「保育園で働く看護職が感じる保育保健に関する業務上の困難感（第2報）八田早恵子」、「保育保健の充実に向けた八重瀬町保育園看護師会の取り組み 神谷昌美」ポスター発表報告他資料展示】その後保育園ごとの情報交換として、皆で自由討議を実施した。</p>
企画の実施評価	<p>保育園ごとの情報交換では、インフルエンザなどの感染症対策について消毒薬の種類など具体的にしていること、自治体による対応の違い（村はインフルエンザの予防接種に補助がある）、夏のプールの感染対策やアレルギー対策など日頃考えていることを話し合われた。今回も前回とは異なる保育園の園長先生が出席され、保育園としてどうされているか伺うことができた。日時の調整が難しいが、なるべくたくさんの方々の参加ができるよう、やんばる研究会の開催調整に努めていきたい。</p> <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町村の情報も得ることができて、よかったです。インフルエンザの流行期前なので、園でもより積極的に手洗いをする必要性なども感じました。ありがとうございました。</li> <li>・久しぶりの研究会で、多くの情報交換ができるので楽しみです。講演会では、日々のちょっとした疑問が解決できる内容でできたらいいですね。・同じ職種の方々の意見がきくことができ、とても良かったです。（悩んでいることが解決できよかったです。）発達障害の講演会楽しみにしています。職員みんなと参加したいです。</li> </ul>
今後の取組み	<p>次回開催 2月か3月 講師を招いての勉強会予定。</p>

<p>企画名 <b>保育園で働くナースのためのやんばる研究会</b></p> <p>第5回 「気になる子どもの保育について」講演会</p>
<p>実施日：平成27年3月24日</p>
<p>企画実施組織：金城やす子・松下聖子・八田早恵子</p>
<p>企画の目的・概要</p> <p>病児・病後児や障害のある子どもたち、また慢性疾患やアレルギーのある子どもたちの保育に関与する保育園看護師について、子どものQOL向上に果たす役割、さらに保育看護を実践するためのシステム作りと保育看護師のサポートネットワークづくりを目的として、平成25年度に「保育園で働くナースのためのやんばる研究会」を立ち上げた。平成26年度も引き続き、保育園看護師や保育士の方々が抱えている悩みや日ごろの体験などの情報交換をとおして、安心して働けることをめざし、開催している。</p>
<p>企画実施報告</p>
<p>1. 日時：2015年3月24日（火）14:00 - 15:30</p> <p>2. 場所：名桜大学 学生会館 SAKURAUM 1階プレゼンテーションコーナー</p> <p>3. 参加者：35名</p> <p>北部地域保育園看護師7名、保育士9名、北部地区保育園園長3名、作業療法士1名、名護市役所子育て支援課2名、八重瀬町保育園園長2名、保育園看護師3名、保育士1名、名桜大学看護学科教員7名</p> <p>4. 内容：今年度最後のやんばる研究会では、名護療育園の勝連啓介先生による「気になる子どもの保育について」の講演会を実施した。内容は、発達障害の子どもと親への支援や虐待防止の注意点等、具体的な業務に参考になる事柄が中心で、講演後の質疑応答も活発だった。</p>
<p>企画の実施評価</p> <p>やんばる研究会の皆さんの要望が多かった、勝連先生による発達障害や虐待防止についての講演会を実施することができた。北部地域ではなかなか講演や研修の機会が少ないため、平日の昼間であったが参加者も多く盛況だった。講演後の質疑応答でも保育園看護師から、発達に課題のある子どもへの対応や、加算を取るために診断する必要のある子どもの親への対応など、保育の現場で直面する課題や悩みが聞かれ、勝連先生の子どもが保育園で楽しそうか、また親への関わりは一度ではなく信頼を深めていくことが重要といったコメントに理解を深めていた。また、場所はオープンスペースで音などに課題もあったが、新しい学生会館 SAKURAUM を地域の皆さんに紹介できたことも良かったと考える。3年目を迎える次年度のやんばる研究会も、地元の保育園看護師をはじめ関係者の方々にとって有意義な会になるよう、参加者の皆さんと相談して実施していきたい。</p> <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で、少し気になる子の接し方をもっと勉強したい。虐待から子ども達を守る為に私達は勇気をもって関わり、働きかけていかなくてはならないと改めて思った。保育をしながら常に子ども達への関わりの中で、迷いがある、その迷いをなくす為にもっとお話しがききたいです。</li> <li>・発達をゆっくり支えていき、その子自身の発達を大切にしていこうと思います。しっかり園の先生方にも伝えていきたいと思っています。頭打ちしていた時だったので、とても助かりました。</li> <li>・とても勉強になりました。子どもと一緒に歩んでいる保護者の手を支えるサポートを考えていきたいと思っています。ありがとうございました。</li> <li>・保育園ナースが勉強できる場が限られた中で、やんばるで講演会が聞けて大変光栄です。気になる子や虐待児に対しても、保育園の果たす役割は大きいと思います。その中で、看護師としてどういう立場で何ができるかももう一度考えてみたいと思います。</li> <li>・とてもためになりました。もっともっと時間があればくわしく深く聞きたいと思いました。保育園で役立つ勉強会や講義が少ないため、とてもありがたいです。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>
<p>次年度3年目の活動内容を、メンバーの方々と共に考えていきたい。</p>



